

旧

新

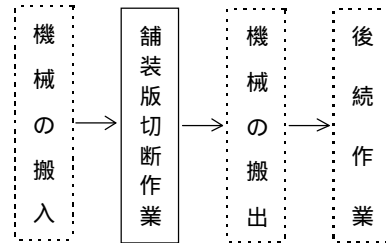
舗装版切断工(建地-D)

1.適用範囲

本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の切断作業に適用する。

2.施工範囲

施工フローは下記のとおりとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3.機種を選定

機械・規格は次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			摘 要
			切 断 深			
			20cm以下	30cm以下	45cm以下	
コンクリートカッタ	走行式 ブレード径45~56cm	台	1			ブレード規格 22 インチ (56cm)
	走行式 ブレード径 75cm	"		1		ブレード規格 30 インチ (75cm)
	走行式 ブレード径 96~106cm	"			1	ブレード規格 42 インチ (106cm)

(注) コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。

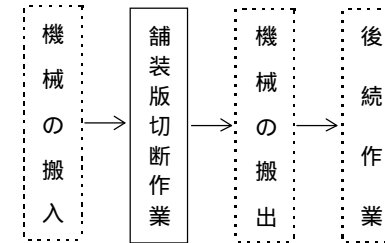
舗装版切断工(建地-D)

1.適用範囲

本資料は、コンクリート舗装版、アスファルト舗装版及びこれらの重複舗装版の切断作業に適用する。

2.施工範囲

施工フローは下記のとおりとする。



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

3.機種を選定

機械・規格は次表を標準とする。

表3.1 機種を選定

機 械 名	規 格	単 位	数 量			摘 要
			切 断 深			
			15cm以下	30cm以下	40cm以下	
コンクリートカッタ	バキューム式 切削深 20cm 級	台	1			ブレード規格 22 インチ (56cm)
	バキューム式 切削深 30cm 級	"		1		ブレード規格 30 インチ (75cm)
	バキューム式 切削深 40cm 級	"			1	ブレード規格 38 インチ (96cm)

(注) コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。

旧

新

4.編 成 人 員

舗装版を切断する作業の日当り編成人員は次表を標準とする。

表4.1 日当り編成人員 (人)

職 種	普通作業員
編 成 人 員	1

5.施 工 歩 掛

舗装版を切断する作業の施工歩掛は下記を標準とする。舗装版とりこわしの場合の切断深さは、原則として舗装版全厚を切断するものとする。

(1)アスファルト舗装版を切断する作業の施工歩掛

表5.1 施工歩掛

名 称	単 位	ア ス フ ァ ル ト 舗 装 版 厚	
		20cm 以下	20cm を超え 40cm 以下
施工量(C <sub>1</sub> )	m / 日	220	140
ブレード損耗量	枚 / 100m	0.21	

(注) 1. コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。  
2. 舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処理が必要な場合は、別途考慮する。

(2)コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版を切断する作業の施工歩掛

表5.2 施工歩掛

名 称	単 位	コ ン ク リ ー ト 舗 装 版 厚		
		20cm 以下	20cm を超え 30cm 以下	30cm を超え 35cm 以下
施工量(C <sub>2</sub> )	m / 日	170	70	40
ブレード損耗量	枚 / 100m	0.61		

(注) 1. コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。  
2. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。  
3. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、全体厚が45cmを超える場合は別途考慮する。  
4. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合は別途考慮する。  
5. 舗装版切断時に発生する濁水の収集・運搬・処理が必要な場合は、別途考慮する。

6.諸 雑 費

諸雑費は水タンク運搬用トラックの損料及び運転経費、水タンク、ホース、ほうき等の費用であり、労務費、機械員料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表6.1 諸雑費率 (%)

諸 雑 費 率
56

4.編 成 人 員

舗装版を切断する作業の日当り編成人員は次表を標準とする。

なお、作業内容はマーキング、切断補助、路面清掃等である。

表4.1 日当り編成人員 (人)

職 種	普通作業員
編 成 人 員	1

5.施 工 歩 掛

舗装版を切断する作業の施工歩掛は下記を標準とする。舗装版とりこわしの場合の切断深さは、原則として舗装版全厚を切断するものとする。

(1)アスファルト舗装版を切断する作業の施工歩掛

表5.1 施工歩掛

名 称	単 位	ア ス フ ァ ル ト 舗 装 版 厚		
		15cm 以下	15cm を超え 30cm 以下	30cm を超え 40cm 以下
施工量(C <sub>1</sub> )	m / 日	240	170	120
ブレード損耗量	枚 / 100m	0.21		

(注) 1. コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。  
2. 舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理が必要な場合は、別途計上する。

(2)コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版を切断する作業の施工歩掛

表5.2 施工歩掛

名 称	単 位	コ ン ク リ ー ト 舗 装 版 厚	
		15cm 以下	15cm を超え 30cm 以下
施工量(C <sub>2</sub> )	m / 日	150	70
ブレード損耗量	枚 / 100m	0.61	

(注) 1. コンクリートカッタ、ブレードの規格は、切断する全体厚により選定する。  
2. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚はコンクリート舗装版のみの厚さである。  
3. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、全体厚が40cmを超える場合は別途考慮する。  
4. コンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の場合、舗装版厚のうちアスファルト舗装版が占める割合が50%を超える場合は別途考慮する。  
5. 舗装版切断時に発生する濁水の運搬・処理が必要な場合は、別途計上する。

6.諸 雑 費

諸雑費は水タンク等の運搬用トラックの損料及び運転経費、水タンク、汚水タンク、ホース、ほうき等の費用であり、労務費、機械員料及び運転経費の合計額に下表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表6.1 諸雑費率 (%)

諸 雑 費 率
56

工種名

改訂新旧表:第 編 第3章 道路維持修繕工 舗装版切断工( - 3 - - 3)

旧

新

7. 単価表

(1) 舗装版切断 100m当り単価表

施工歩掛コード	WB430510
---------	----------

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
普通作業員		人	100/(C <sub>1</sub> またはC <sub>2</sub> )	表4.1,表5.1,表5.2
コンクリートカッタ運転		日	100/(C <sub>1</sub> またはC <sub>2</sub> )	表5.1,表5.2
ブレード損耗費		枚		表5.1,表5.2
諸 雑 費		式	1	表6.1
計				

- (注) 1. C<sub>1</sub>: アスファルト舗装版の日当り施工量  
 2. C<sub>2</sub>: コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の日当り施工量

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
コンクリートカッタ	走行式 ブレード径 45~56cm	機-23	燃料消費量 12 機械損料数量 1.00
	走行式 ブレード径 75cm	機-23	燃料消費量 26 機械損料数量 1.00
	走行式 ブレード径 96~106cm	機-23	燃料消費量 31 機械損料数量 1.00

7. 単価表

(1) 舗装版切断 100m当り単価表

施工歩掛コード	WB430510
---------	----------

名 称	規格	単位	数 量	摘 要
普通作業員		人	100/(C <sub>1</sub> またはC <sub>2</sub> )	表4.1,表5.1,表5.2
コンクリートカッタ運転		日	100/(C <sub>1</sub> またはC <sub>2</sub> )	表5.1,表5.2
ブレード損耗費		枚		表5.1,表5.2
諸 雑 費		式	1	表6.1
計				

- (注) 1. C<sub>1</sub>: アスファルト舗装版の日当り施工量  
 2. C<sub>2</sub>: コンクリート舗装版及びコンクリート+アスファルト(カバー)舗装版の日当り施工量

(2) 機械運転単価表

機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
コンクリートカッタ	ハキム式 切削深20cm級	機-23	燃料消費量 21 機械損料数量 1.00
	ハキム式 切削深30cm級	機-23	燃料消費量 31 機械損料数量 1.00
	ハキム式 切削深40cm級	機-23	燃料消費量 31 機械損料数量 1.00